

食料・農業・農村政策審議会 家畜衛生部会
第106回牛豚等疾病小委員会 概要

○ 日時：令和7年8月19日（火）

○ 場所：持ち回り開催

○ 委員（50音順、敬称略）

臨時委員：小田 茂樹、佐藤 真澄、砂川 富正、津田 知幸（委員長）

専門委員：入江 正和、小淵 裕子、國保 健浩、嶋田 誠司、
長井 誠、山本 健久

オブザーバー：伊藤 貢、迫田 義博、平田 滋樹

○ 概要：

1 福岡県における野生いのししでの豚熱感染の確認について

- ・ これまで野生いのししの豚熱感染が確認されていなかった地域で発見された野生いのしし1頭において、豚熱陽性が確認されたことについて詳細の確認を行った。

2 福岡県及び九州地域における野生いのしし対策について

- ・ 福岡県を野生いのししに対する豚熱経口ワクチンの散布推奨地域とし、野生いのししの感染が確認された地域においては、速やかにワクチン散布を実施することとされた。

- ・ 九州全県において、引き続き、野生いのししの豚熱サーベイランスを強化・徹底することとされた。
- ・ 九州全県において、引き続き、豚熱対策としての野生いのししの捕獲強化を実施することとされた。
- ・ 九州全県での野生いのししの捕獲等において、改めて感染拡大防止対策を徹底することとされた。
- ・ 九州全県において、改めて一般住民、旅行者、県内業者等に向けて注意喚起を行うとともに、具体的な感染拡大防止対策を徹底することとされた。

(以上)